

2016年8月26日～27日 尾白川本谷

メンバー：L朝倉、倉澤、久保

夏の南アルプス沢登りの第二弾として尾白川本谷に行ってきました。天候に翻弄された2日間となり、当初の目的である本流を詰め、甲斐駒へ足を伸ばし黒戸尾根を下山することはできませんでしたが、充実した山行でした。

26日 6:35 日向山P発～（尾白林道）～8:30 入渓点～9:10 鞍掛沢出会い～11:00 噴水ノ滝～12:30 黄蓮谷出会い着（テン場）

事前の予定では3日間、本谷～六合目石室～駒本峰～黒戸尾根の予定でしたが天候が不順の為、入山前から黄蓮谷出会いで終了とし沢を下降する事としました。

日向山Pゲート前から崩壊した林道を歩き終点より、ロープがフィックスされた道を下り入渓点へ。期待された水の綺麗さは無く少しゲンナリ。鞍掛沢出会いまでは行ったことがあるので順調に進む。

出会いを見送った後から初見の沢となる。出会いからすぐのワイヤーのある滝でへつりと水濡れを楽しみ。その後は高巻きを織り交ぜながら遡行。カマの深い滝も多く無理はしない。噴水ノ滝は水量が少ないのか、滝つぼからブクブクといった形容であった。左岸に獅子岩を仰ぎ一方、右岸からは黒戸北沢が滝を伴って落ちてきている。天候が優れないので坊主岩が見えたり見えなかったりで残念。高巻きの道の切れそうなトラロープが頼りなさげだ。

黄蓮谷の出会い右岸に、何人もの人を招いたであろうテン場適地があり、我々も今晚お世話になる事にする。しかしビール缶やブルーシートが散見され気持ちのよい所では無かった。マキも需要超過で少なく集めるのに一苦労。一息ついた所で、今回のもう一つの目的である釣りを楽しむ。ベテランは尺超えを早々に釣り上げるが敬意を表してリリース。その後、3匹ほど形のよい物を選び今晚のご馳走とする。一方、初心者はビギナーズラックもなく坊主であり、精進が必要か。

ラジオで天気予報を確認すると明日は午後から雨との事。黄蓮谷を少し入って黒戸尾根五合目へ抜け、そのまま尾根を下山することも考えたが調査不足の為、明日は天気の崩れないうちに来た道を引き返す事とし就寝。

27日 7:50 テン場発～11:15 入渓点～（尾白林道）～12:30 日向山P着

天気予報どおり曇り、今にも雨が降ってきそうな天候の中、下降開始。右岸上部に昔の渓谷道がついており其方を利用する。渓谷道は噴水ノ滝下で沢を渡り対岸へ。そのあたりから雨が降ってきており慎重に下降する。遠見ノ滝から2つほど下の滝でもう一度対岸へ渡るが、そこは頼りないトラロープがあった所なのでロープを出し慎重に。鞍掛沢出会いについた時は、雨も本降りになっているがこの先は道が明瞭であるため一安心。入渓点から林道へ上がり、足回りもそのままに日向山Pへ急ぐ。

本来の目的は果たせなかったが、振り返ってみると雨の中の下降はリスクがあった。尾根へ上がる道があるのでそれをエスケープとして念頭に置いておけば、下山の選択肢が増えることを痛感した沢であった。